

～AD-4W スカイレーダー哨戒機



本機 AD-4W は、ダグラスの AD スカイレーダー攻撃機から派生した艦載機です。お腹に大きなレドームを有しますが、このレーダーは海面に向けて照射され、潜水艦の潜望鏡やシュノーケルを探知して、これを発見する哨戒機でした。朝鮮戦争時代に使用されています。元の AD スカイレーダー自体、極めて優秀な攻撃機でしたが、さすがにこれだけ大きなコブをお腹に搭載して気流が乱れると、失速特性が悪くなったのでしょうか、本家にはない、固定スラットが主翼前縁に取り付けられ、水平尾翼には垂直安定板が増設されています。AD スカイレーダーは、第二次世界大戦直後に就役し、ベトナム戦争まで使用された息の長い機体で、多様なバリエーションが作成されましたが、この哨戒機バージョンはその中での特異な外観を有していました。

【模型について】

現在、1/72 ではソードから、そのままの型のキットが出ていますが、この作品は、そのリリース前に作った作品で、ハセガワの AD のキットを、英国 Aero Club のコンバージョンパーツを使って改造したものです。このパーツ、指定キットがエアフィックスの古いキット



でしたが、比較的新しいハセガワのキットにも問題なくフィットしました。ただ、塩ビ製のキャノピーが変色していたので、エポパテで型取りして、塩ビ板を使って再生しました。